

2018年3月期 決算説明会

代表取締役社長
藤井 敏道

2018年5月28日



 株式会社ピーエス三菱

目次

1. 2018年3月期 決算概要	P. 2
2. 2019年3月期 業績予想	P. 13
3. 中期経営計画2016の進捗	P. 17
Appendix 会社概要	P. 26

1. 2018年3月期 決算概要

2

2018年3月期 トピックス

建設業界は引き続き好況、各方面で働き方改革に向けた行動計画が策定される

- 2017年度建設投資額が前年度比2.6%増の53兆8,300億円の見通しとなり、2期連続で増加
 - 国土強靱化政策に沿った防災・減災対策、インフラ老朽化対策などの公共投資継続
 - 企業収益の改善を背景に企業の設備投資が緩やかに増加し、今後も底堅く推移する見込み
- 働き方改革に向けた政府・国交省他、建設関係団体の取り組み
 - 政府の「働き方改革実行計画」を受け、日建連が2017年12月に「週休二日実現行動計画」を策定
2019年度末までに4週6閉所以上、2021年度末までに4週8閉所以上の定着を目指す
 - プレストレスト・コンクリート建設業協会が2018年1月に「週休2日実施に向けたマスタープラン」を策定
2019年4月までに4週6休、2022年4月までに週休2日を活動目標とし、2022年4月から週休2日制に移行

売上高は期初計画比で増加、各利益項目は大きく改善し、4期連続で最高益更新

- 売上高は、土木事業でNEXCO新東名、新名神関係の順調な進捗により増加、全体で期初予算より48億円増収
 - 期初計画比4.4%増、前年度比18.7%の増加
- 売上利益は、NEXCO新名神関係の竣工による設計変更獲得や採算性の向上等により全体で1.5ポイントの改善
 - 期初計画：10.5%→2018.3期：12.0%
 - 土木事業の利益率は期初計画よりも2.8ポイント上昇し14.4%、建築事業の利益率は8.9%と0.2ポイント上昇
- 各利益項目が期初計画比で大きく改善し、当期純利益が38億44百万円となり、4期連続で最高益更新
 - 期初計画比増加率：売上総利益+20.0%、営業利益+67.4%、経常利益+70.3%、当期純利益+73.2%

働き方改革の取り組みと人材採用状況

- 2017年9月に「働き方改革実行委員会」を設置し、第1フェーズとして2018年3月に「働き方改革 アクションプラン・ステップ1」を策定
 - ①総労働時間の削減、②週休二日の推進、③ハラスメント対策、従業員満足度調査結果の分析・対策、④"Smart Work Meeting"の設置による各支店での対応強化の取り組みを2018年4月からスタート
 - シニア再雇用や離職率の抑制により、当社グループ人員数1,672名(2017年3月実績)から1,725名と53名の増加、2018年4月新卒者も計画35名に対し44名を採用

3

業績サマリー

連結業績サマリー

(単位：百万円、%)

	2016.3期		2017.3期		2018.3期		コメント
	実績	前年比	実績	前年比	実績	前年比 期初計画比	
売上高	96,066	△8.4	96,715	0.7	114,841	18.7 4.4	大型案件の進捗等により増加
売上総利益	10,020	10.3	11,460	14.4	13,819	20.6 20.0	設計変更獲得、原価改善の取組み等により向上
営業利益	2,891	10.9	3,687	27.5	5,440	47.6 67.4	販管費増加があったものの売上利益の増加により5期連続増益
経常利益	2,799	26.0	3,454	23.4	5,347	54.8 70.3	受取配当金の増加
親会社株主に帰属する当期純利益	1,817	8.3	2,653	46.0	3,844	44.9 73.2	4期連続で最高益更新
1株当たり年間配当金 (円)	8.0		12.0		18.0		期末配当 6円増配



利益増減分析 (前年同期比)

経常利益増減分析

(単位：百万円)



- 売上高は手持工事の順調な進捗により前期比18.7%増、売上総利益は前期比23億59百万円大幅増加し、利益率が11.8%から12.0%に向上
 - 土木事業は、前期からの繰越工事も多く進捗が進み売上高が増加、工事竣工に伴う設計変更の獲得等により工事採算が改善
 - 建築事業は、売上高は増加したものの、売上総利益は一部工事で不具合が発生したこと等により微増
- 販管費が前期比6億5百万円増加
 - 人財確保を目的とした従業員の処遇改善等の施策により人件費が増加、社員教育の充実により物件費が増加
- 営業外収益が65百万円減少
 - インドネシアにある製品製造関連会社の生産減少に伴う損益悪化により投資利益が減少
- 営業外費用が2億3百万円減少
 - 支払手数料の支出減により減少

利益増減分析（期初計画比）

経常利益増減分析

（単位：百万円）

	2,299	△108	4	11	【実績】 2018/3期 経常利益
【期初計画】 2018/3期 経常利益 3,140	売上総利益 増加	販管費増加	営業外収益 増加	営業外費用 減少	5,347
	土木事業 +2,288 建築事業 +241	人件費増 △121 物件費減 +13	受取配当金増 +18 持分法投資利益減 △9	支払手数料減 +8 為替差損減 +4	

- 売上高が大型案件の進捗等により増加し、売上総利益が22億99百万円増加、売上総利益率が10.5%から12.0%に上昇
 - 土木事業は、工事竣工に伴う設計変更獲得等により売上総利益が22億88百万円増加し、利益率が11.6%から14.4%に上昇
 - 建築事業は一部工事で不具合が発生したものの、売上総利益が2億41百万円増加し、利益率が8.7%から8.9%に上昇
- 販管費が期初計画比1億8百万円増加
 - 人財確保を目的とした従業員の処遇改善等の施策により人件費が増加
- 営業外収益が期初計画比4百万円増加
 - 主に投資有価証券の受取配当金の増加
- 営業外費用が期初計画比11百万円減少
 - 主に支払手数料の減少

セグメント別業績

セグメント別売上高・売上総利益・受注高

（単位：百万円、%）

	2016.3期		2017.3期		2018.3期		コメント
	実績		実績		実績	前年比	
売上高	土木事業	47,411	49,356	63,798	29.3		
	建築事業	46,770	44,815	48,770	8.8	・土木事業ではNEXCO関連の進捗により大幅増加	
	製造事業	1,170	1,819	1,638	△10.0	・建築事業では繰越大型案件の進捗により増加	
	その他兼業事業	714	723	634	△12.4		
	合計	96,066	96,715	114,841	18.7		
売上総利益	土木事業	4,904	6,501	9,178	41.2		
	建築事業	4,587	4,303	4,361	1.4	・土木事業の売上総利益は、設計変更獲得、工事採算の向上により増加	
	製造事業	225	294	3	△98.8	・建築事業の売上総利益は、売上高が増加するも一部工事の不具合が発生したこと等により微増	
	その他兼業事業	297	293	304	3.7		
	調整額	5	67	△28	△142.5		
合計	10,020	11,460	13,819	20.6			
受注高	土木事業	66,902	55,192	55,573	0.7		
	建築事業	46,883	45,278	45,165	△0.2	・土木事業は、工事完成に伴う設計変更獲得等があったものの、大型案件の期ずれ等により微増	
	製造事業	1,170	1,819	1,638	△10.0	・建築事業は、予定していた大型案件の期ずれ等により微減	
	その他兼業事業	714	723	634	△12.3		
	合計	115,670	103,013	103,012	△0.0		

土木事業

業界環境

- 2018年度公共事業関係費は約6兆円とほぼ横ばい
 - － 生産性向上のためのインフラ整備、豪雨・台風災害等を踏まえた防災・減災対策などへの重点化を推進
- PC市場は約3千億円と前年度並みの発注予測
 - － 整備新幹線事業や高速道路の維持補修事業の大幅増加により、各社との受注競争が激化

業績推移



- 工事竣工に伴う設計変更獲得、原価改善等を主因として売上高、売上総利益ともに大幅増加
 - － 豊富な前期繰越工事の消化により売上高が大幅増加、工事竣工に伴う設計変更獲得や原価改善により売上総利益も大幅増加
- 受注高は、PC新設橋梁の大型案件の失注等が影響し、前年を上回るものの期初目標未達
 - － 上期に大型床版取替工事の受注を獲得、下期に発注時期の期ずれ等があるも設計変更獲得等により前年規模を維持

大型受注案件 (受注金額上位3件)

工事名	工事概要
常国橋他2橋床版取替工事	中国自動車道 常国橋他2橋の床版取替一式工事
大久川橋	常磐自動車道4車線化事業におけるPC上部工工事 (橋長=601.5m)
第4矢田野橋りょう	北陸新幹線延伸工事に伴うPC上部工工事 (橋長=370m)

建築事業

業界環境

- 堅調な企業業績に支えられた民間建設投資の発注増加
 - － 企業収益の好況等を背景に、民間建設投資は底堅く推移し市場環境は活況
- 資材価格は上昇傾向が鮮明
 - － 建設資材価格は徐々に上昇してきており、物流費については人員不足から急速に高騰

業績推移



- 採算最重視による受注を進めるも他社との競争が激化しており、売上高は増加したが、売上総利益は微増
 - － 売上高は前期からの大型工事が着実に進捗し増加、売上総利益は一部不具合工事の発生により前年度より利益率低下 (9.6%→8.9%)
- PC建築では、成田公津の社医学部棟が予定通り2017年12月に竣工し、発注者より高評価を獲得
 - － PCaPC工法を含めたプレゼンテーションの高度化を図り、グローバル電機メーカー本社ビルの受注獲得、今後も設計力等の強化推進

大型受注案件 (受注金額上位3件)

工事名	工事概要
某焼却炉の解体新設工事	S造6階 基準法床面積 約6600㎡
老健施設新築工事	S造5階 基準法床面積 約11000㎡
某社研究施設新設工事のうちPC工事	PCa部材架設工事 基礎部PCa型枠板・基礎梁・柱・梁・床版・パラペット

製造事業及びその他兼業事業

製造事業 - 業績推移



その他兼業事業 - 業績推移



貸借対照表

連結貸借対照表の主な項目

(単位: 百万円)

	2016.3期 実績	2017.3期 実績	2018.3期 実績	コメント
資産合計	69,000	77,306	83,313	
流動資産	52,644	60,263	65,977	・買掛債務の支払等により現金預金が2,609百万円減少
現金預金	11,599	15,049	12,440	・工事竣工により、受取手形・完成工事未収入金等が6,344百万円、電子記録債権が243百万円それぞれ増加
受取手形・完成工事未収入金等	34,865	38,161	44,749	
固定資産	16,356	17,043	17,335	・工場用機械、工場用土地等を新規購入するも、減価償却の実施等により有形固定資産が159百万円減少
有形固定資産	12,036	12,232	12,073	
無形固定資産	33	217	196	・前払年金費用の支払等により退職給付に係る資産が352百万円増加
投資その他の資産	4,287	4,593	5,065	
負債合計	46,455	52,583	54,997	・買掛債務の支払により、支払手形・工事未払金等が560百万円、電子記録債務が359百万円それぞれ減少
流動負債	36,806	42,254	44,742	
固定負債	9,649	10,328	10,254	
純資産合計	22,544	24,722	28,316	・親会社株主に帰属する当期純利益3,844百万円を計上、配当金568百万円を支出
株主資本	21,244	23,306	26,582	・退職給付に係る調整累計額が239百万円増加
その他包括利益累計額	1,299	1,416	1,733	
負債純資産合計	69,000	77,306	83,313	

キャッシュ・フロー

連結キャッシュ・フローの主な項目

(単位：百万円)

	2016.3期	2017.3期	2018.3期	コメント
	実績	実績	実績	
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,604	4,248	△3,049	
税金等調整前四半期純利益	2,363	3,473	5,197	
減価償却費	610	711	667	
退職給付に係る資産の増減	△80	6	△141	
退職給付に係る負債の増減	123	241	237	・営業収益の積上げ
工事損失引当金増減	△135	31	744	・工事竣工による売上債権の増加
売上債権の増減	5,752	△2,860	△6,606	・買掛債務の支払による仕入債務の減少
たな卸資産の増減	22	△1,289	△315	
仕入債務の増減	△2,850	2,419	△1,028	
未成工事受入金の増減	△1,861	1,602	△248	
その他営業活動フロー	2,263	699	△580	
法人税等支払額	△604	△787	△975	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△666	△811	△535	
有形固定資産取得	△675	△801	△581	・工事用車両更新等による有形固定資産の取得
その他投資活動フロー	9	△9	45	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,354	13	977	
短期借入金純増減	△6,473	990	1,728	
長期借入れによる収入	3,500	-	-	
リース債務返済による支出	△74	△92	△83	・買掛債務の支払い等のため短期借入金が増加
自己株式の取得による支出	△0	△213	△0	・増配により配当金の支払額が増加
配当金支払額	△284	△379	△568	
その他財務活動フロー	△21	△291	△97	
現金及び現金同等物期末残高	11,599	15,049	12,440	

2. 2019年3月期 業績予想

2019年3月期の取組み

発注が本格化した大規模更新・修繕事業の案件精査と受注強化

- 土木事業では期ずれ影響もあり、前年度は受注目標を下回っている。施工条件や採算性の検討と要員対策を充実させ、大規模更新・修繕事業への受注強化を図る
- 当社独自の床版継手技術(MuSSL工法) や交通規制低減に優位性のある半断面床版取替工法の営業展開と採用拡大を目指す

採算最重視による受注拡大とPC建築部門強化

- 建築事業では他社との競争激化等により、受注が目標未達となっている。労務・資材価格のコストアップが顕在化するなか、受注時採算管理を徹底していきながら、早期に受注確保を図る
- PC建築の採用拡大に向け、PCaPC施工実績を基に発注者、設計者への営業強化を図るとともに、受注検討案件でも積極的にPC化を推進する

グループ全体の人材確保・育成の推進と働き方改革アクションプランへの取組み

- 新卒採用を中心として、中途採用、定年再雇用を行い、年齢構成の歪み是正、女性活躍、高齢者雇用を引き続き推進する
- 総労働時間の削減、週休二日制の推進といった「働き方改革 アクションプラン・ステップ1」への取組みと、ICT活用などで働きやすい職場環境を構築し、生産性向上を図る

設備投資の着実な実施と、新規事業の開拓

- グループ全体で大規模更新における床版製作設備増強や機械化施工に向けた設備投資を着実に実施する
- 新たな賃貸事業を展開することができたが、引き続き建設事業以外で収益基盤を強化するために、新規事業の開拓を進めていく

業績予想

連結業績予想

(単位：百万円、%)

	2017.3期		2018.3期		2019.3期予想		コメント
	実績	前年比	実績	前年比	予想	前年比	
売上高	96,715	0.7	114,841	18.7	113,000	△1.6	土木建築事業の減収
売上総利益	11,460	14.4	13,819	20.6	12,890	△6.7	土木事業の工事採算が減少
営業利益	3,687	27.5	5,440	47.6	4,100	△24.6	販管費の増加
経常利益	3,454	23.4	5,347	54.8	3,940	△26.3	
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,653	46.0	3,844	44.9	2,800	△27.2	
1株当たり年間配当金 (円)	12.0		18.0		18.0		



セグメント別業績予想

セグメント別売上高・売上総利益・受注高

(単位：百万円、%)

		2017.3期	2018.3期	2019.3期予想		コメント
		実績	実績	予想	前年比	
売上高	土木事業	49,356	63,798	63,700	△0.2	・建築事業の前期からの繰越工事減少による減収
	建築事業	44,815	48,770	46,200	△5.3	
	製造事業	1,819	1,638	2,300	40.4	
	その他兼業事業	723	634	800	26.1	
	合計	96,715	114,841	113,000	△1.6	
売上総利益	土木事業	6,501	9,178	7,870	△14.3	・土木、建築事業とも、下期竣工が多い ・土木事業は設計変更等による回復要因を固めに見立て ・建築事業では、労務・資材価格のコスト高と他社との競争激化等を予想
	建築事業	4,303	4,361	4,470	2.5	
	製造事業	294	3	260	7,053.5	
	その他兼業事業	293	304	290	△4.7	
	調整額	67	△28	-	-	
	合計	11,460	13,819	12,890	△6.7	
受注高	土木事業	55,192	55,573	60,100	8.1	・業界環境は引き続き好況であり、受注強化策で早期に案件確保に注力する
	建築事業	45,278	45,165	49,100	8.7	
	製造事業	1,819	1,638	4,000	144.1	
	その他兼業事業	723	634	800	26.0	
	合計	103,013	103,012	114,000	10.7	

3. 中期経営計画2016の進捗

中期経営計画2016の進捗

数値目標と進捗

2018.3期 振り返り

- 期初計画比で受注高が減少、売上高が増加、各利益項目が大幅増加
 - 利益改善により営業利益率が2.2%ポイント上昇
 - 同様に経常利益率も2.3ポイント上昇

2019.3期 業績予想

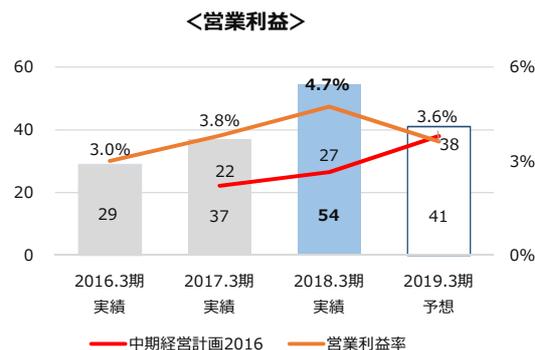
- 受注高、売上高ともに計画値と同額予想とするも、各利益項目で増額予想
 - 各事業の利益率見直しにより、土木12.4%、建築9.7%、全体11.4%とし中計目標より引き上げ
- 工事採算の見直しにより営業利益率を3.6%、経常利益率3.5%に上方修正

(単位：百万円)

		2017.3期 実績	2018.3期 実績	2019.3期 中計目標	2019.3期 業績予想				
受注	土木事業	55,192	55,573	61,140	60,100				
	建築事業	45,278	45,165	49,000	49,100				
	製造事業	1,819	1,638	2,300	4,000				
	兼業事業	723	634	1,560	800				
	合計	103,013	103,012	114,000	114,000				
売上高	土木事業	49,356	63,798	61,290	63,700				
	建築事業	44,815	48,770	48,700	46,200				
	製造事業	1,819	1,638	2,350	2,300				
	兼業事業	723	634	660	800				
	合計	96,715	114,841	113,000	113,000				
売上利益	土木事業	13.8%	6,823	14.5%	9,257	12.0%	7,330	12.4%	7,870
	建築事業	9.7%	4,329	8.8%	4,272	9.2%	4,460	9.7%	4,470
	製造事業	2.6%	46	1.1%	18	11.1%	260	11.3%	260
	兼業事業	36.0%	260	42.8%	271	37.9%	250	36.3%	290
	合計	11.8%	11,460	12.0%	13,819	10.9%	12,300	11.4%	12,890
販売費及び一般管理費	8.0%	7,773	7.3%	8,378	7.5%	8,500	7.8%	8,790	
営業利益	3.8%	3,687	4.7%	5,440	3.4%	3,800	3.6%	4,100	
営業外収益		209		144		150		105	
営業外費用		441		238		250		265	
経常利益	3.6%	3,454	4.7%	5,347	3.3%	3,700	3.5%	3,940	

※売上利益につきましては、内部取引調整後の数値を表示しております。

中期経営計画2016の進捗



資本政策（経営指標）

配当政策

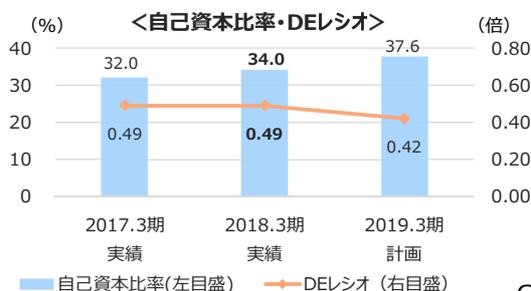
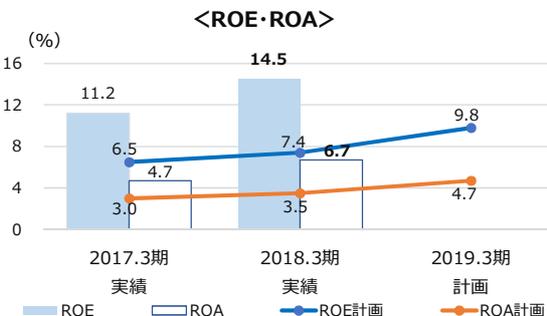
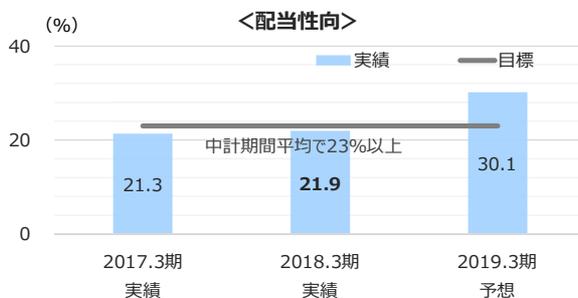
- 大幅な利益改善により配当を増配
 - ROE14.5%、ROA6.7%と期初計画値を大きく上回った
 - 配当については、中計期間中の配当性向を鑑み、当初12円から18円に6円増配し、配当性向は21.9%となった
- 「中期経営計画2016（2016年度～2018年度）」の配当性向は、平均で23%以上を目指す
 - 配当は18円とし、配当性向30.1%を見込む

内部留保に関する方針

- 企業価値の最大化へ向け、PC技術を応用した新工法・新技術の開発、工場の再構築、情報関連投資等に活用
- 経営基盤の強化を図るとともに、当社グループの今後の更なる事業展開及び企業競争力の強化に努めていく

財務比率・資本効率に関する方針

- 健全な経営基盤を維持するために財務体質の強化と資本効率の向上を図り、「中期経営計画2016（2016年度～2018年度）」の最終年度では以下の目標とする
 - ROE（自己資本当期純利益率）9.8%以上
 - ROA（総資産経常利益率）4.7%以上
 - D/Eレシオ（有利子負債÷株主資本）0.42倍以下



部門別戦略の進捗状況

土木部門

部門方針

高速道路の大規模更新需要等、主力分野の変動に対応出来る事業体制を整える

進捗状況 今後の取組み

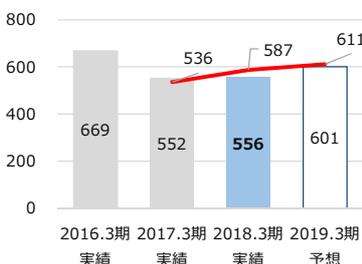
【業績関係総括】

- 受注計画は、PC新設橋梁の発注量の減少影響もあり、目標未達
- 売上計画は、繰越物件の消化が順調に進み、大幅に目標達成
- 利益計画は、NEXCO案件等の設計変更が獲得出来、大幅に目標達成
- 今期予想は、中計数値より受注高は10.4億円のマイナス、売上高は24.1億円のプラス、利益は5.4億円のプラスとした

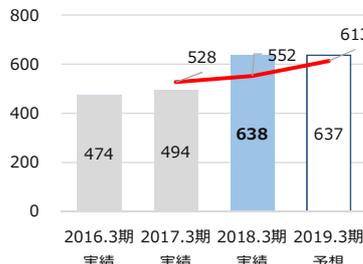
【事業戦略総括】

- 主力の新設橋梁から非橋梁・一般土木、更新・メンテナンスへの事業シフトは順調に推移
- 中期経営計画の戦略区分に合わせた新しい予算管理の開始。データの集計が可能となった
- 「土木工事経歴システム」等、受注活動や工事管理に有効なシステムの運用が開始
- 生産性向上の取組みとして、電子黒板システムの導入やドローンを用いたUAV（Unmanned Aerial Vehicle：無人航空機）計測・精度検証業務の活用を推進
- 大規模更新工事は、東名高速沼津IC～富士IC間床版取替工事、中国道常国橋床版取替工事を受注
2019年3月期は、魚津～黒部間構造物更新工事を受注

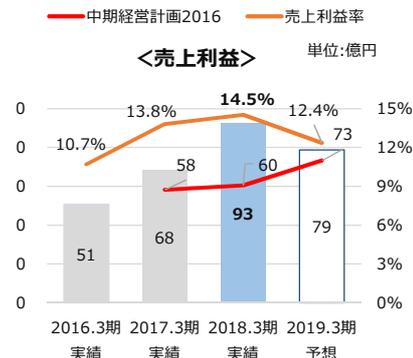
＜受注＞



＜売上＞



＜売上利益＞



部門別戦略の進捗状況

建築部門

部門方針 **勝ち残りのための競争力を強化する**

進捗状況
今後の取組み

【業績関係総括】

- 受注計画として、2017年度は目標未達、来期予想は中計数値を若干上回る
- 売上は目標に対し1.3億円の増、利益は目標に対し2.3億円の増加で、ほぼ計画通り
- 一部不具合工事の発生により、第4四半期で利益の積み上げできず
- 来期予想としては、売上高は-25億円、利益+0.1億円とした

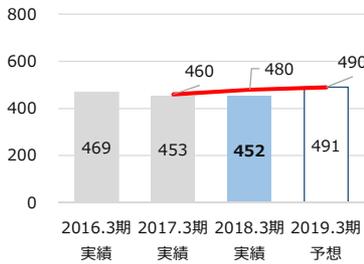
成田公津の杜医学部校舎



【事業戦略総括】

- PCaPC工法の大規模工事「成田公津の杜医学部校舎建設工事」は無事に竣工
- PCaPC元請案件にチャレンジし、某電気メーカー本社ビル新築工事を受注
- PC部門の体制強化として、営業2名、技術7名を増員し、組織体制を強化
- PC建築の理解促進を目指したPR活動を継続。PR動画等の営業ツールを整備
- 設計力、プレゼンテーション力の強化。BIMの導入に向けた整備を開始
- ストック事業を管理・推進するため「不動産部」を設立し、組織体制を強化

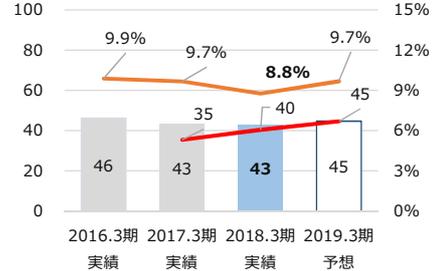
<受注>



<売上>



<売上利益>



部門別戦略の進捗状況

技術部門

部門方針 **転換期において、将来における技術的優位性の確立に向けた取組みを推進する**

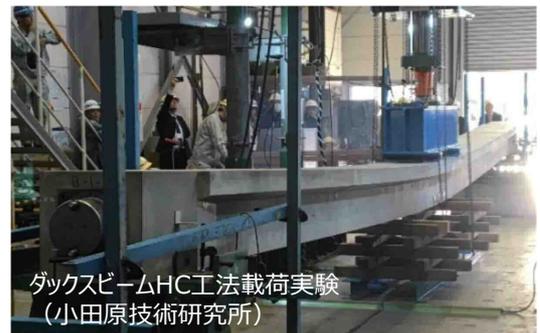
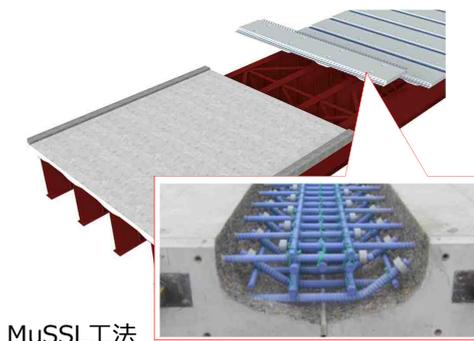
進捗状況
今後の取組み

【成長分野の技術開発】

- 大規模更新分野
- 床版継手工法として、当社独自の継手工法(MuSSL工法)を確立し実施工へ採用予定
- NEXCO総研、NEXCO3社と共同開発した「半断面床版取替工法」を試行的に採用した「中国自動車道 道谷第二橋」が竣工
⇒2017年度PC工学会賞を受賞
⇒NEXCO総研、NEXCO3社、当社との共同特許を取得し、他社より一歩リード

【新領域の開発に向けた技術開発】

- 高強度コンクリートを用いた低桁高PC橋「ダックスビームHC工法」を開発
⇒技術審査証明の更新、取得に向けた取組み、さらなる受注拡大を目指す



部門別戦略の進捗状況

海外部門	
部門方針	現地事務所・既存工場・現地合弁企業を含めた包括的体制整備を行い、現地パートナー企業と連携を強化し、市場拡大を目指す
進捗状況 今後の取組み	<p>【工事業業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 6年ぶりの海外橋梁建設であるスリランカ4橋工事は、2017年8月に無事完工 ODA案件を中心に営業活動を推進し、2019年3月期の受注は1,180百万円を目指す ベトナム北部（ハノイ）では現地企業と協業し、業務拡大を目指す <p>【工場事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> インドネシアの2工場は、ジャカルタ地下鉄向け製品を納品完了。今後、大型ODA案件の受注に向け、現地パートナーとの協力体制により、確実な受注を目指す ベトナムのVINA-PSMC社は、ODA案件のPCマクラギの生産が順調に推移し、今後、現地パートナーとの連携を強化し、ローカル案件の受注拡大を目指す <p>【新エリアへの進出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ミャンマー国に事務所開設予定で、更なる情報収集に注力



スリランカ4橋工事



ベトナム地下鉄PCマクラギ製作

部門別戦略の進捗状況

管理部門・関係会社	
部門方針	<p>【管理部門】 今後の事業規模、事業展開を見据え、人財、ICT、グループ戦略面での取組みを推進する</p> <p>【関係会社】 社会のニーズを掴み、強固なグループ経営の実践により、グループ全体で企業価値を向上させる</p>
進捗状況 今後の取組み	<p>【人財確保・育成・活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合職の定期採用(2018.3月卒)は、計画35名に対して、44名の実績 多様な働き方に対応するために「エリア限定総合職制度」を導入(2017/10) <p>【働き方改革】</p> <ul style="list-style-type: none"> 働き方改革実行委員会を2017年9月に設置し、より良い職場環境づくりのスタート ⇒業界団体の方針・ガイドラインに対応した対策案を策定 働き方改革「アクションプラン・ステップ1」の策定(2018/3) <p>【投資計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2年間の投資合計は、16億円、2018年度の累計は計画値の40億円を超える予定 2018年3月期はPSC社工場の設備更新とPSK社の工事用車両の更新を実施 2019年3月期は仙台市でのストック事業への投資を予定

アクションプラン・ステップ1

- ① 総労働時間の削減
個人の総労働時間管理のシステム化
2018年度 目標 標準時間+960時間
- ② 週休二日の推進
2018年度 目標 4週6休の閉所
- ③ ハラスメント対策、従業員満足度調査
結果の分析・対策
- ④ "Smart Work Meeting" の設置
各支店等での時短推進取組強化



Appendix. 会社概要

今後の事業環境の見通し

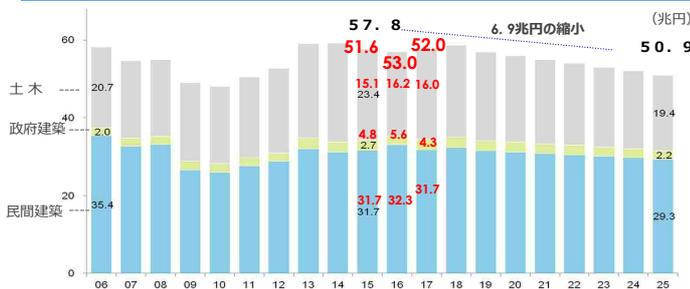
機会 (Opportunities)

- 国土強靱化事業・防災・減災対策の需要は当面持続
- 交通網の整備、高速道路等の大規模更新の需要増
- 老朽化対策、リニューアル事業、海外事業は増加傾向

脅威 (Threats)

- 国内建設市場の縮小（オリンピック特需・震災復興事業の終焉）
- 新設工事主体から維持補修・リニューアル分野への質的変容
- 少子高齢化などを背景とした民間設備投資意欲の低下

建設市場の推移



- オリンピック開催までは、都市開発事業等の建設需要がある
- 建設市場全体（土木・建築）では2019年以降市場縮小を見込む
- 建築市場は、維持・修繕市場が拡大する傾向が続くものの、新設工事の減少が見込まれる

出所: 中長期の経済財政に関する試算（内閣府）、建設投資見通し（国交省）
 建設経済モデルによる建設投資の見通し（建設経済研究所 他）
 建設工事施工統計調査報告（国交省）を活用して当社試算
 赤字は過去実績値
 国交省「建設工事受注動態統計調査報告」より抜粋

PC市場の推移



- 新設市場は縮小傾向が持続すると想定される
- 高速道路の大規模更新による特需等により、維持・補修市場は、拡大が見込まれる
- PC市場全体では3000億円規模まで拡大することが想定される

出所: プレストレスト・コンクリート建設業協会資料の実績数値をベースに当社試算
 赤字は過去実績値

プレストレストコンクリート (PC) 技術とプレキャスト (PCa)技術とは

プレストレストコンクリート (PC) とは

PCは「あらかじめ (プレ) 応力 (ストレス) を与えられたコンクリート」のことです

- コンクリートの最大の弱点(引張には弱い)を克服することができます
- 圧縮する力を与えることで、大きな引っ張る力が作用してもひび割れを制御することができます
- 上記により、柱や梁を細くしたり空間の距離を大きく取ることができます



プレキャスト (PCa) とは

高強度のコンクリートを使用し、あらかじめ工場で製作したコンクリート部材です

- 工場で生産されるので、高品質・高精度で、高耐久を有しております
- 現場で型枠を組み施工した場合より周辺の環境に優しい工法です
- 工場で部材を製作する為、現場作業の省力化・スピード化が図れます

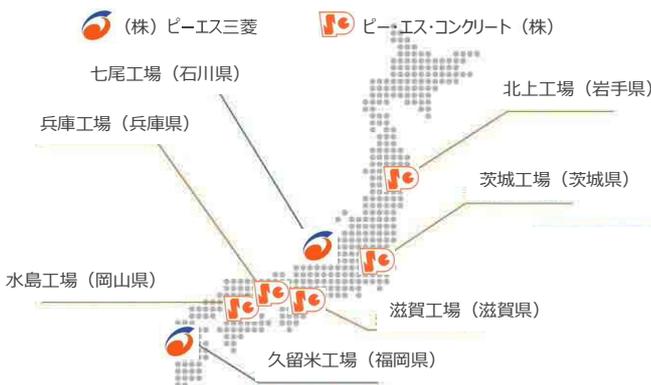


グループネットワーク

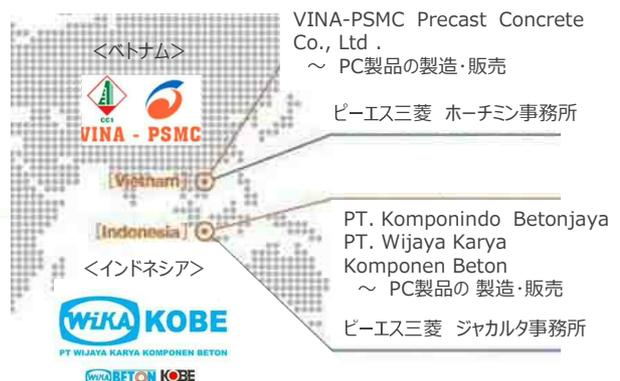
ピーエス三菱グループ (主要国内5社)

 株式会社 ピーエス三菱 P.S.Mitsubishi Construction Co.,Ltd. 支店 ・東京土木支店 ・東京建築支店 ・東北支店 ・大阪支店 ・名古屋支店 ・広島支店 ・九州支店 営業所 34箇所	株式会社ピーエスケー		PC工事における機材の企画・設計・製作・賃貸・販売、資材の製造・販売およびこれらの運用・活用に関するエンジニアリング
	株式会社ニューテック康和		道路・鉄道・港湾等の構造物のメンテナンス、リニューアル
	ピー・エス・コンクリート株式会社		PC製品の製造販売
	菱建商事株式会社		建築資材販売、物流、不動産関連など
	菱建基礎株式会社		土木・建築構造物の基礎工事など地下分野の総合専門工事

国内工場ネットワーク



海外ネットワーク



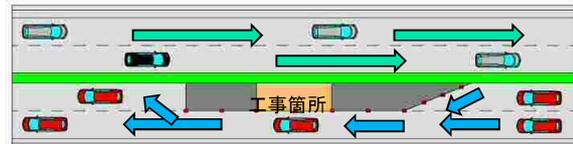
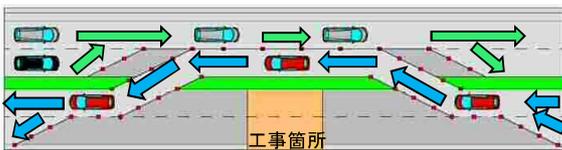
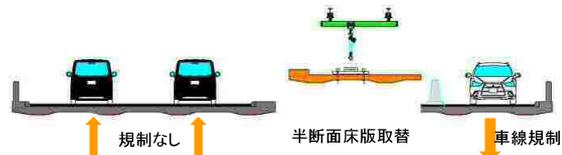
概要 NEXCO総研 共同開発

従来の床版取替工事では、床版を取替する側の車線を全面通行止めとし、もう一方の車線を対面通行とすることで工事を行ってきました。このため、工事箇所を対面通行規制とするために、大規模な対策を行わなければなりませんでした。

半断面床版取替工法は、工事を一車線のみの規制で施工可能な工法であり、渋滞による社会的損失を最小限に抑えることのできる画期的な工法です。

【 従来技術:全面通行止施工 】

【 提案技術:車線規制施工 】



対面通行規制



車線規制

特長

- **広汎な適用性** 対面通行規制が難しいトンネル連続区間や、車線規制による社会的損失が著しい重交通区間などにも適用できます。
- **実証実験** 耐用年数100年相当の繰返し輪荷重疲労載荷試験を実施し、疲労耐久性が確保されていることを確認しました。
- **ストリンガー不要** 縦目地部にプレストレスを導入し耐力を確保するため、通常の床版と同等の疲労耐久性を保有し、ストリンガーが不要となります。
- **片車線通行可能** PCa床版に「プレテンション構造」を採用し、門型架設機による施工が可能となるため、車線規制で床版取替が可能となります。
- **高耐久な縦目地構造** 縦目地部には高弾性エポキシ樹脂接着剤と腐食しない材料を使用するため、凍結防止剤散布環境下でも耐久性を確保します。

施工手順



既設床版撤去



縦目地部設着剤塗布



撤去床版の搬出



取替床版架設



主桁上フランジケレン



場所目地部コンクリート打設



輪荷重走行試験

(※高速道路総合技術研究所 橋梁研究室との共同研究で実施)



縦目地部に配置した非金属ガイドキー



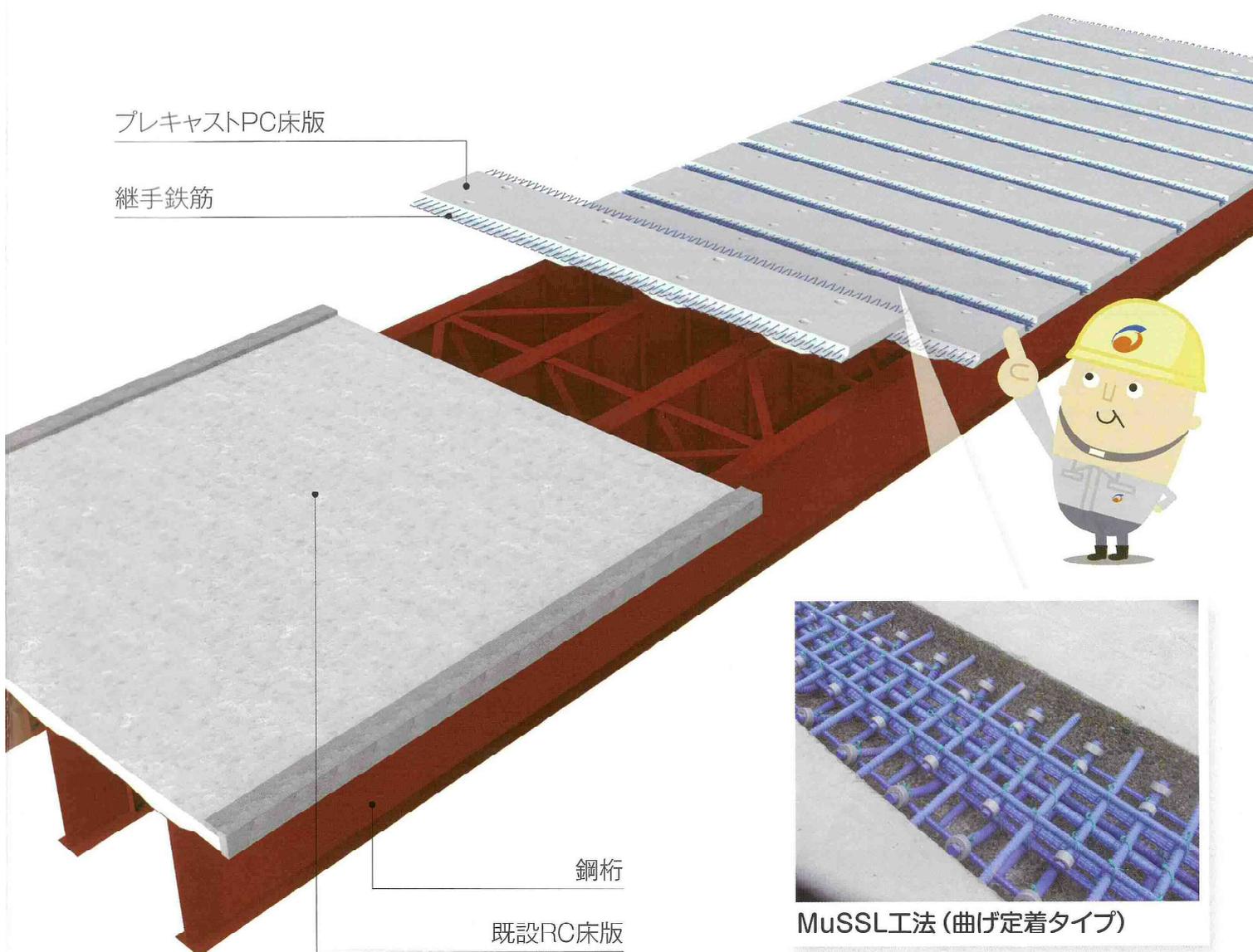
道谷第二橋（上り線）工事

MuSSL工法

Mutual-Settled Secure Lap method

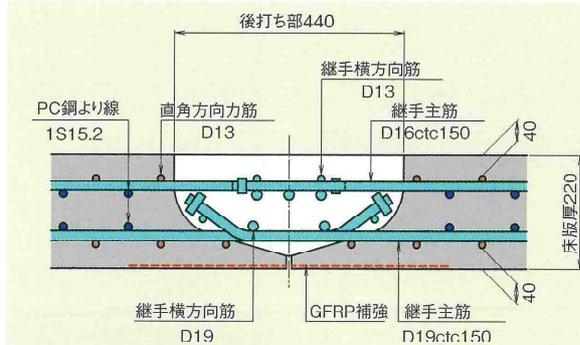
生産性向上を目指した

プレキャストPC床版の高耐久継手構造



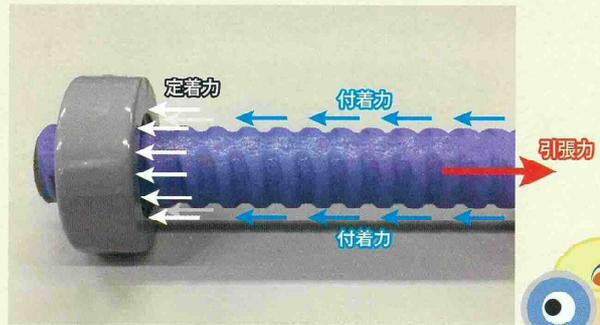
開発の背景

道路橋における鉄筋コンクリート床版の取替えの工事では、工期が短く耐久性に優れるプレキャストPC床版への取換えが多く計画されています。また、既設床版が薄く従来のプレキャスト床版用のループ継手が適用できないため、数種の継手工法が開発・施工されています。しかし、これらの継手工法はすべて、接合部の施工に底型枠が必要なあご無し形状のプレキャスト床版を前提としています。そのため、施工性、耐久性に優れるあご付き形状のプレキャスト床版に適用可能なMuSSL工法 (Mutual-Settled Secure Lap method) を開発しました。



継手形状詳細 (標準部)

継手主筋はネジ節鉄筋とし、端部に円形ナットを設置した継手構造です。下主筋を曲げ上げてあご付き形状版に適用します。円形ナットは後設置なため、床版の製作性に優れます。



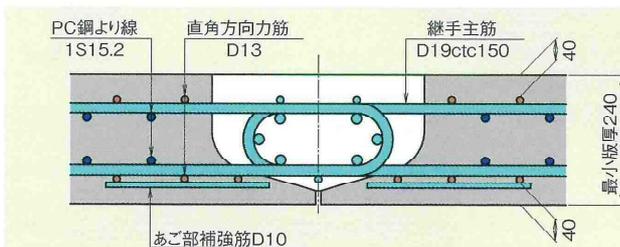
定着機構

鉄筋：ネジ節鉄筋+高付着型エポキシ樹脂塗装
円形ナット：鋳鉄製 (FCD450-10)+エポキシ樹脂塗装
鉄筋の付着力と円形ナットの定着力で引張力を伝達します。

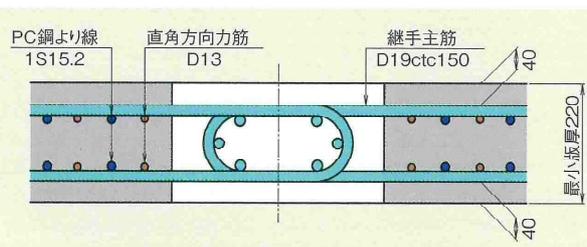
工法の特徴

1 床版厚

一般的な鋼材配置であご付き形状の床版にループ継手を用いる場合、床版厚は240mmになります。また、継手主筋を外側に配置した場合、床版厚は220mmまで薄くできますが、ループ鉄筋と干渉するためあご無し形状とする必要があります。本工法ではあご付き形状のまま、PC鋼より線が12.7mmの場合210mm、15.2mmの場合220mmに床版厚を設定できます。



ループ継手 (あご付き)



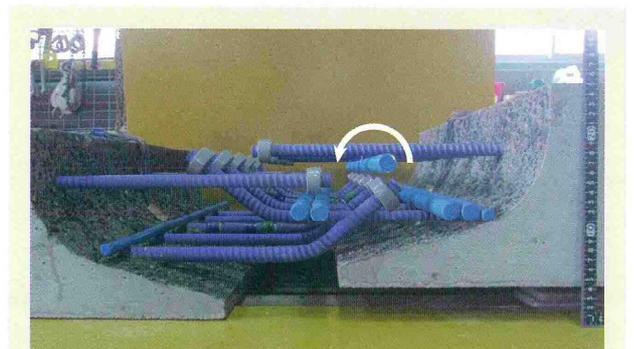
ループ継手 (あご無し)

2 接合部鉄筋の組立て

ループ継手における接合部の横方向鉄筋の組立ては、プレキャストPC版架設完了後に側面から挿入する必要があります。本工法では、プレキャストPC版の架設途中の段階で、仮置きした横方向鉄筋を移設配置することも可能です。

3 接合部の底型枠不要

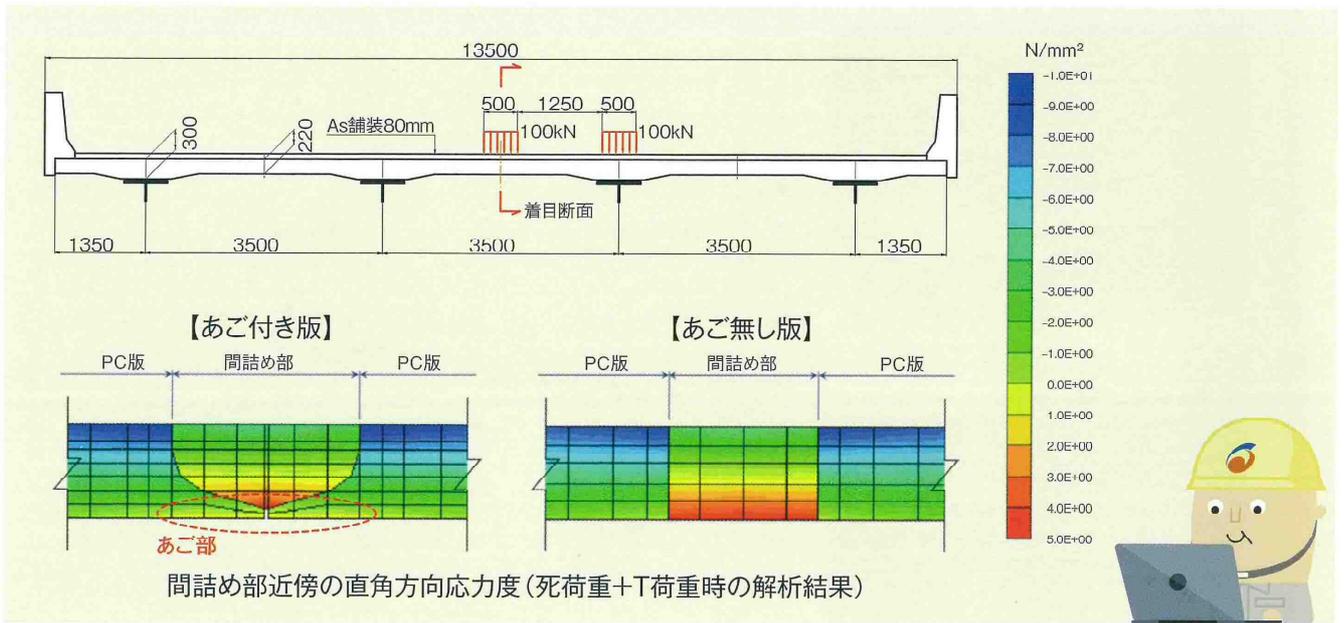
あご付き形状版の採用により接合部の底型枠が不要となるため、生産性と施工の安全性が向上します。



接合部鉄筋の組立て

4 接合部の耐久性向上

あご無し版の場合、間詰め部は床版全厚がRC構造となるため、活荷重によるひび割れの発生が避けられません。あご付き版の場合、プレストレスが導入される“あご部”が後打ちされる間詰め部と一体となるため、ひび割れが抑制されます。

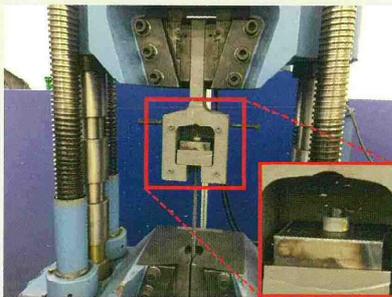


性能確認試験

1 定着構造の基本性状確認試験

ねじ鉄筋に専用の円形ナットを用いた独自の定着構造に関して、基本的性能の確認を行っています。

【円形ナットの引抜き試験】

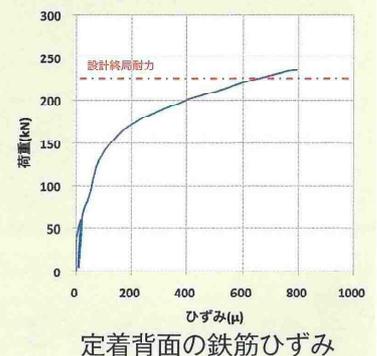
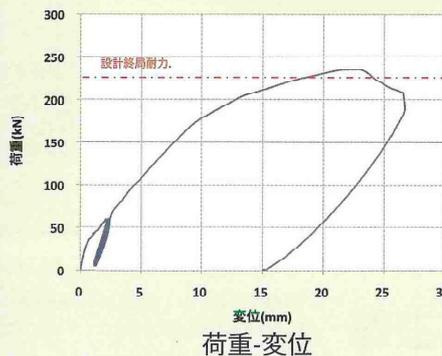
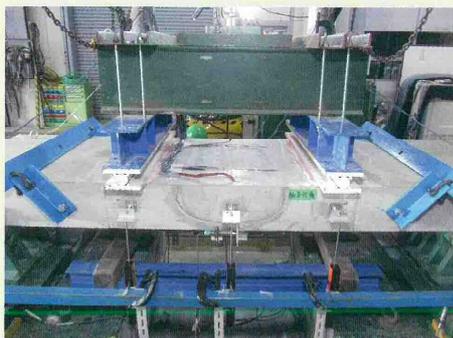


【定着強度試験】



2 曲げ耐力確認試験

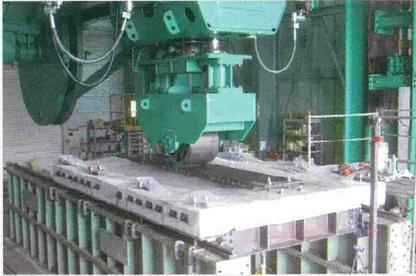
継手部に着目した正曲げ載荷試験により、道路橋床版として必要な耐力を有していることを確認しました。



3 疲労耐久性試験

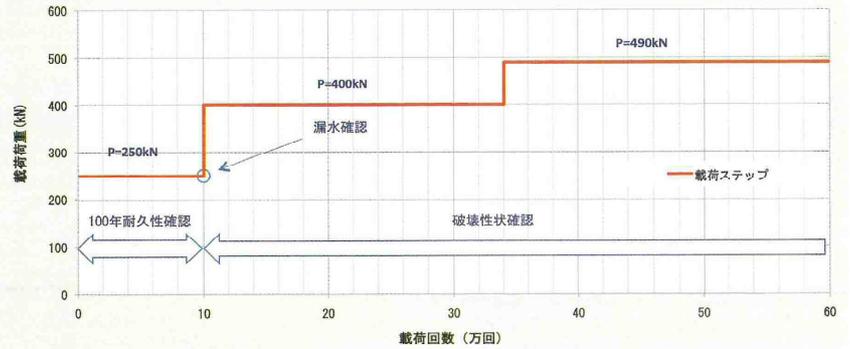
輪荷重走行試験により100年相当の耐久性に問題ないことを確認しました。破壊性状の確認を目的に行った荷重を増加させた試験では、最終的にPC版部の押抜きせん断破壊で終局を迎え、継手部は破壊しませんでした。

輪荷重走行試験



※P=250kN 載荷時の目地開き量は0.05mm以下

載荷方法

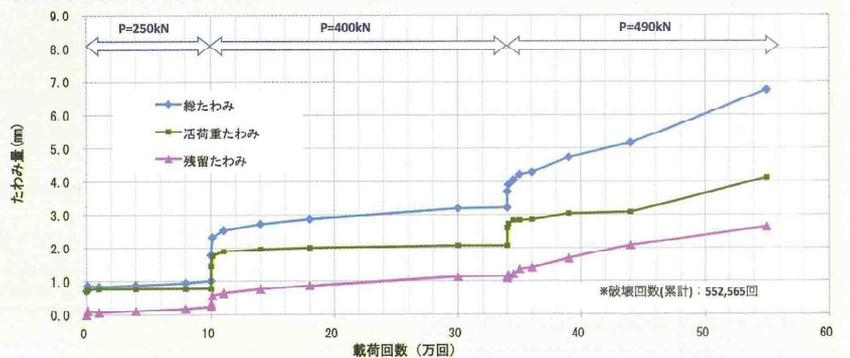


漏水確認試験



※6hの水張り試験で下面に漏水なし

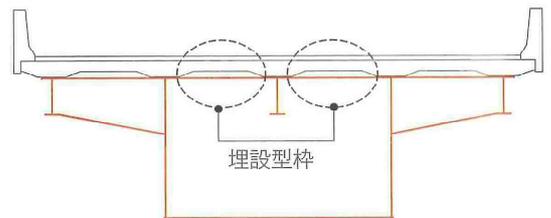
載荷回数とたわみ量の関係



※「100年耐久性確認」ステップでの着目点:①たわみが急増しない、②目地の開き量0.1mm以下、③上面から漏水がない

適用構造例

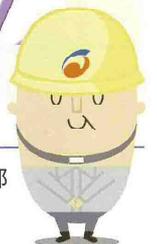
鋼橋には鉸桁橋のほか、箱桁橋、トラス橋などがあります。箱桁橋では間詰め部分の底枠が埋設されるため、将来的な悪影響が懸念されます。トラス橋ではトラス材が錯綜しているため、型枠の設置撤去の作業は煩雑なものになります。底枠が不要なあご付き版は作業の安全性および生産性に優れ、通常の鉸桁橋に加えて様々な形式の橋梁に適用性が高い床版構造です。



箱桁橋



トラス橋





株式会社ピーエス三菱
代表取締役
常務執行役員建築本部長

黒柳 辰弥氏

——建築現場では技能者の構造的な不足が問題視されています。工場で生産するPCa(プレキャストコンクリート)はそうした課題に対応し省力化を図れる部材として注目度が高まっています。

黒柳 工場で生産するPCaの利用によって、コンクリートを現場で打設する必要がなくなりますから、現場の労働力を減らせます。またコンピューター解析で生み出された複雑な形状を実現するには、高度な技能を持つ型枠大工が不可欠ですが、工場で生産するPCaなら限られた人数の技能者で対応可能です。沖縄県の粟国幼小中学校の改築工事では、離島で作業員の確保が難しいことと、生コン自体も供給が困難との理由でPCaが採用されました。PCaの省力化が採用の要因の一つになった事例です。

——どの程度の省力化を図ることができるのですか。

黒柳 躯体工事では専門の作業員が必要になりますが、その一方で、型枠大工や鉄筋工といった高度な技能が求められる作業員の数は半分程度に抑えられます。

公共建築で魅力を発揮するPCaPCの建築技術

近年、公共建築のニーズや課題に対応した技術として注目度を高めているのが、「PCaPC(プレキャスト・プレストレストコンクリート)」である。これまでも、庁舎、学校、病院、競技場など、幅広い用途の建築物で利用されてきた。その魅力を、パイオニアであるピーエス三菱の代表取締役常務執行役員建築本部長、黒柳辰弥氏に聞いた。

(聞き手は、日経アーキテクチャ発行人、畠中克弘)

仕上げ工事では、通常は40日ほど必要なコンクリートの養生や型枠の解体が不要になります。PCaを利用すれば、躯体工事終了後すぐ仕上げ工事に移れるわけです。この段階でも作業員の数は減らせます。

鋼製型枠で複雑な形状も工場生産が意匠性高める

——工期の短縮も図れるわけですね。

黒柳 はい。工期は3分の2程度に圧縮できるはずですが、建築物の規模が大きいほどその割合は大きく、例えば床面積2万㎡程度の建築物なら、躯体工事だけで工期を半年分くらい削減できる見込みです。工期の短縮を図る狙いから、部分的にPCaを取り入れる例もみられます。

——公共建築にPCaを利用する良さはほかにもありますか。

黒柳 意匠性の高い空間表現が可能であるという点です。例えば東京都港区立の小中一貫教育校である白金の丘学園の体育

館では、湾曲した梁で空間を構成しています。また奈良県天理市がJR・近鉄天理駅前を整備した駅前広場「コフン」では、古墳をモチーフにした円錐状の構造物をつくりました。コンクリートを現場で打設する在来工法では実現できないような特色のある空間を生み出せるわけです。

——なぜ、それが可能になるのですか。

黒柳 現場では型枠を組んでその上からコンクリートを流し込むので、特殊な形状をつくり上げるのが可能だとしても、型枠大工に相当な技量が求められます。

これに対してPCaであれば、工場で鋼製型枠を用いてコンクリートの部材をつくり上げます。しかも型枠の形状そ



左から：九州支店PC建築部長 池田 龍基氏、東北支店PC建築部長 永浦 勉氏、東京建築支店PC建築部長 和智 美徳氏、代表取締役建築本部長 黒柳 辰弥氏、建築本部PC建築部長 寒川 勝彦氏



天理駅前広場コフン(奈良県天理市)

奈良・天理駅前に整備された駅前広場。古墳をモチーフとした構造物「コフン」にPCaが採用された。工場成型であるため現場打ちのコンクリートでは難しいダイナミックな形状が実現できたほか、防水性や耐震性にも優れる。



粟国幼小中学校(沖縄県粟国村)

沖縄県の離島・粟国島に建設された幼小中学校校舎。離島で職人を確保することが難しく、生コンの供給が困難だったため、PCa構造が採用された。PCa部材を沖縄本島で製作し海上輸送で現地に運搬し組み立てた。

のものに変化をつけられるので、型枠を組む技量がそれほど高くなくても、特殊な形状を実現することができるのです。

—そのPCaの部材を、鋼材で圧着接合して構造物を組み上げるのが、PCaとPC(プレストレストコンクリート)を組み合わせた「PCaPC」という建築技術ですね。

黒柳 そうです。PCとは、圧縮には強く引っ張りには弱いコンクリートにあらかじめ圧縮力を与えることで、その弱点を大幅に改善した構造部材です。復元性に優れ、大地震後の残留変形やひび割れが少ない。また自然に生じるひび割れが少なく中性化のスピードが遅いため、耐久性の高い建築物を実現できます。

ある企業は本社ビルを建設するにあたって、計画当初は鉄骨造を想定していました。しかし途中段階から構造形式を見直し、いまはPCaPCを採用する方向を探っています。事業継続の観点から、復元性に優れる点が目に留まったようです。

もう一つ、大スパンの空間を生み出せるというのも魅力です。

—人口が減少していく中、建築物の用途を変更する必要が生じた場合にも対応しやすそうです。

相性よいPCaPCと免震柱を減らし、荷重を集約

黒柳 柱や壁のない広々とした空間を確保できるので、用途変更にもフレキシブルに対応できます。用途変更の例ではありませんが、千葉県成田市の国際医療福祉大学では施工中にレイアウトを一部見直しています。現場でコンクリートを打設する在来工法であれば、そうした見直し要望に応えるのは極めて困難です。

—採用実績には、庁舎、学校、病院、競技場などが多く見られます。どのような施設が適しているのですか。

黒柳 例えば、大スパンの空間が求められるものです。そうした空間は鉄骨造でも実現可能ですが、居住性を比べると、コンクリート系であるPCaPCのほうが有利です。

最近、見られるのは、免震との組み合わせです。実は、PCaPCと免震は相性が良いのです。

上部構造がPCaPCなら大スパンの空間を確保できるので柱の本数を抑え

られます。それに伴い、免震装置の数を減らしコストダウンを図れるうえに、そこに荷重を集約することが可能です。さらに免震装置を設置するコンクリートには一定の精度が要求されるだけに、プレキャスト化された部材の良さも生きます。

—コスト面では在来工法に比べ高いという印象が一般的です。

黒柳 確かに、躯体工事費だけを比べれば高いかもしれません。しかし、建築工事費全体でみれば、工期が短くなるうえに現場経費を削減できるので、決して高くはありません。

—PCaPCの建築技術が社会の中で担う役割をどうお考えですか。

黒柳 PCaPCの建築技術は特殊な形状の建築物で主に採用されてきたという面があります。しかし今後は、技能者不足や働き方改革など公共建築を取り巻く環境の変化を背景に、省力化や工期短縮がより広く、より強く求められる時代です。PCaPCの建築技術は社会の中で重要な役割を担うようになってきています。



〒104-8215 東京都中央区晴海二丁目5番24号 晴海センタービル3階
Tel (03) 6385-9111 URL <http://www.psmic.co.jp/>

夢に向かって To Achieve Your Goals!

日頃から藤井社長は「胸を張って夢を語る会社にしよう」とおっしゃっています。

この『夢』をテーマに、サッカー選手という夢を叶え、今もなお新たな夢の実現に向けて努力している浦和レッズの興梠慎三選手と浦和レッズレディースの安藤梢選手、夢を持ってピーエス三菱に入社した藤本謙太郎さん、福山友里さんに語り合っていました。

浦和レッズ



ピーエス三菱



夢を持ち続け、実現させる

藤井 今日は『夢』というテーマで皆さんとお話したいと思います。私は4年前に社長に就任した時に『胸を張って夢を語る会社にしよう』というキャッチフレーズを考えました。きっかけは当時の部長たちから「建設業はずっと右肩下がり



浦和レッズ
興梠慎三選手

の苦しい時代を耐えてきたし、今も目の前のことでいっぱい、夢を語る余裕なんてありません」と言われたことです。今まではそうだったとしても、これから活躍する社員に夢を持って前向きに仕事に取り組んでもらいたいと思ったわけです。ひとり一人が自信を持って夢を語り合うことで、共通の夢を実現させていこうという意味です。皆さんはい

つ、どんなきっかけで夢を持ち、またそれを実現するためにどんな努力をしたのか、聞かせてください。

興梠 子どもの頃から親がいろんなスポーツをさせてくれて、野球選手に憧れていたこともありましたが(笑)、高2の頃にプロにスカウトされ、本気でサッカー選手を目指そうと思いました。同期には長友佑都選手や本田圭佑選手がいて、高校時代は僕の方が活躍していたけれど、彼らは努力して海外のチームでも活躍しています。夢を持つことも大事ですが、それを実現するための努力が大事だと思います。

安藤 私は幼稚園の頃からサッカーが好きで、小学生の時になでしこリーグに憧れ、「日本代表になって世界一になりたい」と作文に書いていました。当時、女子サッカーは珍しく、練習も男子に混ぜられてでしたが、ずっと「世界一になりたい」「オリンピックで優勝したい」という思いでプレーしていました。念願叶って16歳で日本代表に入りましたが、ワールドカップ予選で敗退し、世界との差を思い知らされました。それでも上を目指して頑張ってきた結果、2011年のワールドカップで優勝でき、「夢をあきらめずに続けていれば結果は出るんだ」と実感しました。



藤井敏道社長

藤本 私は小さい頃から物づくりが好きで、小学校高学年の時の家族旅行で、渓谷から大きな橋を見あげて「これはどうやって作るのだろう?」と思ったことが、橋梁に興味をもった瞬間でした。将来は自分も橋を作りたいと思

い、5年制の高等専門学校に進学しました。橋梁について学ぶようになって初めて勉強の楽しさに目覚め、今に繋がっています。

福山 私は父が設計事務所を営んでおり、小さい頃から設計という仕事が身近にありました。住宅、店舗、学校など建築は生活の中に当たり前存在し、なくてはならないもの。それを設計する仕事に就きたいと思い、学生時代からたくさんの建築物を見て吸収しました。仕事に就いてからは昨年、一般職から総合職に職掌転換し、より深く設計業務と向き合うようになり、周りの先輩方からいろいろと学んでいる最中です。

夢をつなげる原動力

藤井 興梠選手は日本のJリーガーの中でも全てのタイトルを取り、100ゴールを達成し、昨年はACL優勝*1と、大変活躍されていますね。

興梠 僕は自分でドリブルしてゴールするタイプではなく、チームの仲間が繋いでくれるおかげでここまでこられたと思っています。昨年のACLはチームを育ててくれたミシャ（ミハイロ・ベトロヴィッチ元監督）に恩返ししたい気持ちと、皆でこのタイトルを獲る!という強い気持ちで臨んだ結果、優勝に繋がりました。個人的には今までで一番嬉しいタイトルでした。

藤井 優勝という大きな目標を達成した後、どのようにして新しい夢や目標を思い描き、頑張っていくのですか。

興梠 気持ちの切り替えは難しいです。正直、100ゴールもハットトリックも達成し、タイトルも全部取れて、もう引退してもいいかなと思ったこともあります（笑）でも、一つでも多くのタイトルをレッズにもたらしたいですし、3歳になった娘にかっこいい所を見せたい。それが原動力になっていると思います。

*1：ACL…AFC(アジアサッカー連盟)チャンピオンズリーグの略称

安藤 優勝は最高の瞬間ですが、終わるとそれは過去のことで。私はいつもサッカーが好き、もっと上手になりたいと思って続けています。オリンピックや所属していたドイツでのチーム優勝など、すぐに目標を新しく切り替えていきました。今もちろんリーグ優勝が目標ですが、サッカーの研究で筑波大学の博士号取得にも取り組んでいて、とても充実しています。

藤井 当社の二人は1つの仕事が終わって次の仕事に取り組む時、どうやって気持ちを切り替えていますか?

藤本 大きなプロジェクトに携わる時は「これが最後に作る橋梁だ」という気持ちで全力を注いでいます。社長を前に申し上げるのは恐縮ですが、大きな構造物が完成した時は達成感が強く、すぐに次に向かう気持ちがわいてこないこともあります。仕事以外では今は大学院で博士号を取るという機会を与えていただき、仕事をしながら勉強するという新たな目標に向けてステップアップしていこうという気持ちでいます。

福山 建築では、1つの物件が完成する前に次の物件の計画が始まることが多いのですが、敷地形状や建物用途、発注者によっても全く違った建物の設計となるので、自然と気持ちが切り替わりますね。

チームワークで大事なこと

藤井 サッカーはチームプレーですから、仲間との信頼感が大事でしょうし、フォワードとしての責任感があるでしょうね。

興梠 フォワードだから特に責任感が強いわけではありませんが、サポーターの皆さんの期待を裏切らないようにしたいし、チームが一番キツイ時に結果を出すのがエースなので、そうなれるように頑張っていきたいですね。

安藤 チームが劣勢でも自分が決めれば1回か2回のチャンスで勝てることもあるので、いいボールを出してもらったらしっかり決める!といつも思っています。

藤井 当社の仕事でもチームワークが大事ですね。

藤本 私たち設計者は技術的なことを第一に考え、現場の人はどういう順番で作っていくかを考えています。その中で議論もしますが、立場は違っても良いものを作ろう



浦和レッズレディース
安藤 梢選手



東京土木支店土木技術部設計グループ
藤本謙太郎さん

という方向性は同じですからチームワークは大事ですね。

福山 最初は営業部門と連携して発注者の要望を伺い、その想いを正しく汲み取り、構造・設備設計者に伝えます。設計段階が進むと積算や工事などたくさんの

部署と協力しあい、より良い建物をつくるために意見を出し合います。経験豊富な先輩方からは私が気付かなかったことも指摘していただけるので、とても勉強になります。

興梠 会社では社長がサッカーの監督のような立場だと思いますが、強いチームにするために藤井社長が気をつけていることを教えてください。

藤井 企業もチームですから、それぞれの人を尊重しないと成り立ちません。私も課長や部長の頃、管理職として必死に仕事をさばいていましたが、認められませんでした。むしろひとり一人の部下をよく見て、語り合っ、良い所を伸ばしていこうと考えるようにしたら、全体がうまく回るようになりました。サッカーでもチームメイトをよく見ていれば「この人は自分でシュートを打たずにパスするぞ」とか「絶対に自分で打つ人だ」と分かるでしょう。相手がどういう人かを観察することは、どんな世界でも重要なことだと思います。

興梠 なるほど。僕もゼネラルマネージャーになってもっとよいクラブにすることが夢なので、今のお話はとても参考になりました。

人と関わり、成長しよう

藤井 最後にわが社の新入社員に向けて、お二人の新人時代の思い出とメッセージをお願いします。

興梠 プロになって初めて加入した鹿島アントラーズには日本代表選手がたくさんいましたが、彼らに勝つ自信はあったし、実際、1年目から試合には出られました。といっても、やはり実力の差はあるわけで、そこで初めて挫折を感じました。自信は必要だし実力も大事ですが、チームの一員としての人間性が大事です。人間性も含めての良いチームを目指してください。

安藤 私もさいたまレイナスFC*2というチームで最初からプレーしていたので自信はありましたが、代表から外れた時に初めて自分の弱さを認め、自分の欠点を理解してトレーニングや試合に臨むようになりました。ワールドカップやオリンピックで夢を叶えられたこともよかったけれど、夢に向かう過程でいろいろな人に出会ったり経験したりして、成長できたことが一番大切だと感じています。新入社員の皆さんも先輩やいろいろな経験から学んでください。

藤井 今日は大変よいお話を伺うことができました。皆さん、ありがとうございました。



本社建築本部設計部意匠設計グループ
福山友里さん

*2：さいたまレイナスFC…浦和レッズレディースの前身





詳しい対談内容は当社HPに掲載しています。ぜひご覧ください。

詳しくはWEBで



当社施工のクラブハウス・レッズランドの使い心地を聞きました!

クラブハウスの居心地は最高です。僕は練習の前後にゆっくりしたいタイプなので、仮眠室もあるし、選手全員がリラックスできるので、もう少し早くあったらなあと思ったくらいです(笑)今は最高です!



レッズランドは私がドイツに移籍する前に比べてさらに良くなっているのですが、今日この施設を見せてもらって、うらやましいなあという思いです。

読者プレゼント

座談会終了後、当社グループ社員の皆さんに向けて、興梠選手と安藤選手にサインを書いていただきました! 社内報アンケートにお答えいただいた方の中から抽選でプレゼントさせていただきますので、ふるってご応募ください。(応募期間4/2~4/13)

プレゼント
内容

- ユニフォーム …1着
- トートバック …5個
- 色紙 …10枚

※全て両選手のサイン入り



みんなで応援しよう!!

●試合日程

2018シーズン、皆さまの熱いご声援をお願いします!(試合日程は下記のURLよりご確認ください)

浦和レッズ <https://www.urawa-reds.co.jp/game/>

浦和レッズレディース <https://www.urawa-reds.co.jp/ledies/gameresult/>

●レックスクラブ

「REX CLUB」は、ファン・サポーターの皆さまが浦和レッズに関するさまざまな体験を共有し、メンバー同士の「絆」を深めたり、仲間がいる幸せをさらに感じていただくことを目指しています。

※ピーエス三菱グループ限定の入会キャンペーンなど詳細はイントラに掲載中

お問い合わせ先

REX CLUB事務局

TEL: 0570-064-026

火曜日~土曜日(10:00~18:00)

※日・月・祝日・ホームゲーム開催日を除く



REX CLUB
REDS EXPERIENCE

レッズをたのしむ、レッズでつながる
浦和レッズ メンバーシップ

浦和レッズ協賛企業限定 2018シーズン 特別入会キャンペーン

浦和レッズのメンバーシップ「REX CLUB」の有料会員(通常年会費3,000円)

「PREMIER CLUB」が
初年度無料に!

<https://www.rexclub-specialentry.jp/>
(申込期限: 2018年6月末)

特別入会
コードは
イントラに
掲載中

入会方法: 専用サイトで特別入会コードを入力して簡単入会!

1 専用入会サイトにアクセス

スマホ、PCで
専用サイトにアクセス

2 特別入会コードを入力

特別入会コードを入力して、
専用入会サイトにログイン

3 お客様情報を入力

画面の指示に従い、お客様
情報を入力すると入会完了!

たった5分で簡単入会!



「PREMIER CLUB」に入会すると、
REX CLUB REGULARに登録され、
さまざまな特典が受けられます!

REX CLUB REGULAR 5大特典

- 入会特典・オフィシャルハンドブックがもらえる!
- カード会員証を発行!
- チケット先行・会員価格で買える!
- 会員限定イベントに参加!
- ポイントプログラム「REX POINT」で交換できる!

ピーエス三菱のPR動画を作成しました。



将来予測に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保证するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。このため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性がありますので、あらかじめ御了承ください。

IRに関するお問い合わせ先

株式会社ピーエス三菱 管理本部 総務人事部 広報・IRグループ
〒104-8215 東京都中央区晴海二丁目5番24号 晴海センタービル
TEL : 03-6385-8002 FAX : 03-3536-6927 メールアドレス : koho.ir@psmic.co.jp